

調査結果の概要

(1) 生活行動に関する結果

①学習・自己開発・訓練

滋賀県で「学習・自己開発・訓練」について、過去1年間（平成22年10月20日～23年10月19日。以下同じ）に何らかの種類の活動を行った人（10歳以上）の数（行動者数。以下同じ）は49万1千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率。以下同じ）は39.2%となっています。行動者率は5年前の調査から1.4ポイント上昇しており、全国では第3位となりました。（第1位は東京都）

種類別に行動者率を見ると、「パソコンなどの情報処理」が13.1%と最も高く、次いで「英語」10.8%、「芸術・文化」10.3%が高くなっています。（図1-1）

全国と比較すると、滋賀県は「英語以外の外国語」、「人文・社会・自然科学・歴史・経済・数学・生物など」をのぞいて全国を上回っています。（図1-2）

男女別の行動者率を種類別に比較してみると、主なものでは「パソコンなどの情報処理」が男性が16.3%であるのに対し、女性は10.0%、「商業実務・ビジネス関係」では、男性が8.7%であるのに対し、女性は5.0%、「人文・社会・自然科学」では、男性が7.3%であるのに対し、女性は4.9%でした。一方、「家政・家事」では、女性が13.3%であるのに対し、男性が4.5%、「芸術・文化」では女性が13.0%であるのに対し、男性は7.6%、「介護関係」では、女性が4.2%であるのに対し、男性は2.5%でした。（図1-3）。

男性は仕事に関するものが、女性は家庭生活に関するものが、それぞれ行動者率が高い傾向にあります。5年前と比べると「家政・家事」や「介護関係」では女性の率が減少し、男性の率が上昇しています。

「家政・家事」	男性	平成18年	3.6%	→	平成23年	4.5%	（0.9ポイント増）
	女性	平成18年	15.8%	→	平成23年	13.3%	（2.5ポイント減）
「介護関係」	男性	平成18年	1.6%	→	平成23年	2.5%	（0.9ポイント増）
	女性	平成18年	5.1%	→	平成23年	4.2%	（0.9ポイント減）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率(平成18年、23年)

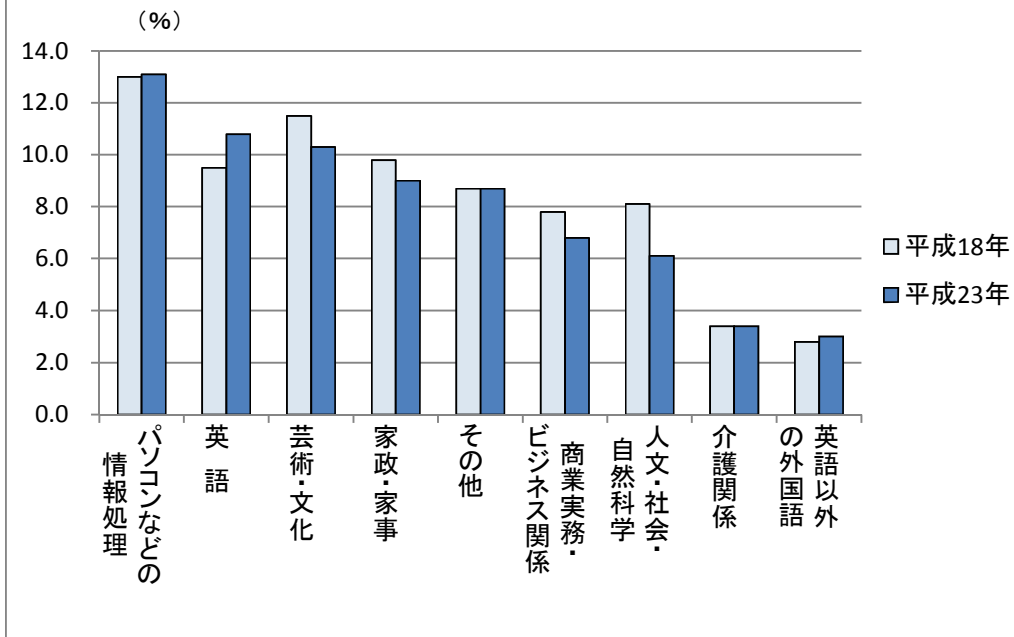
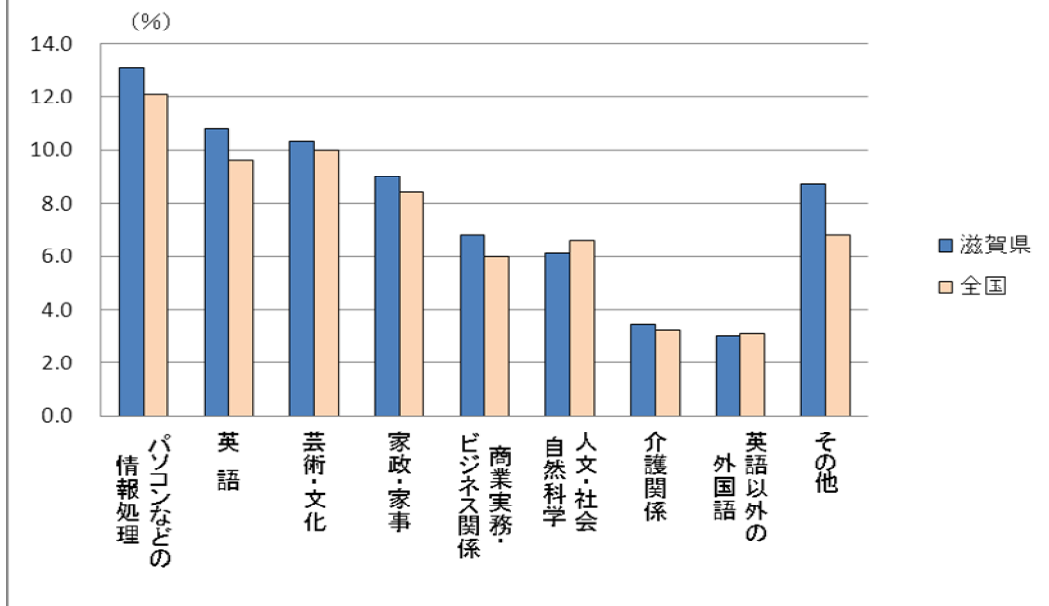
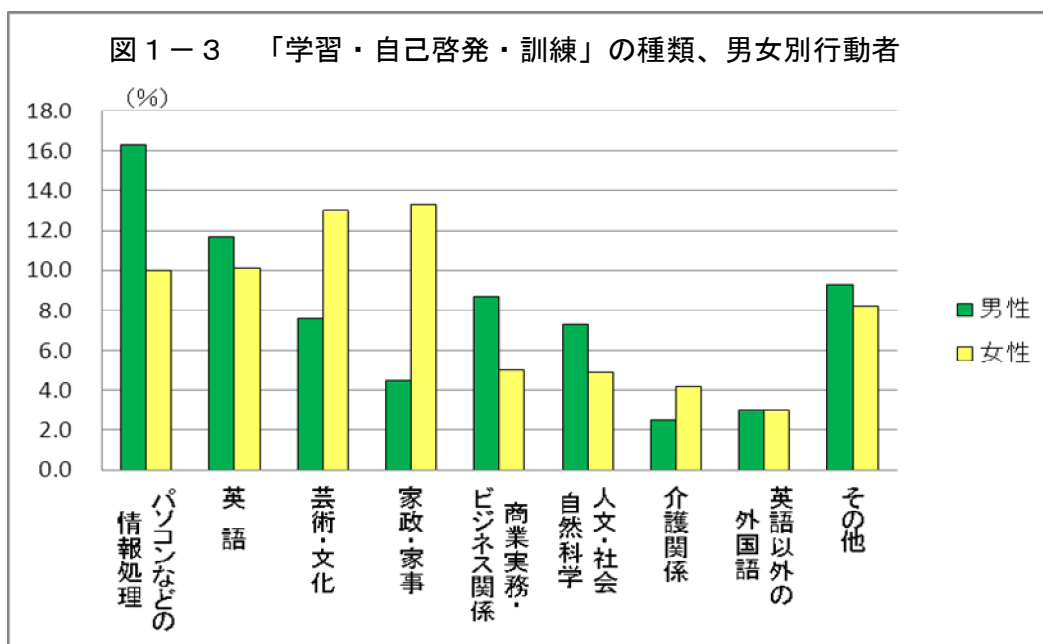


図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率(滋賀県、全国)





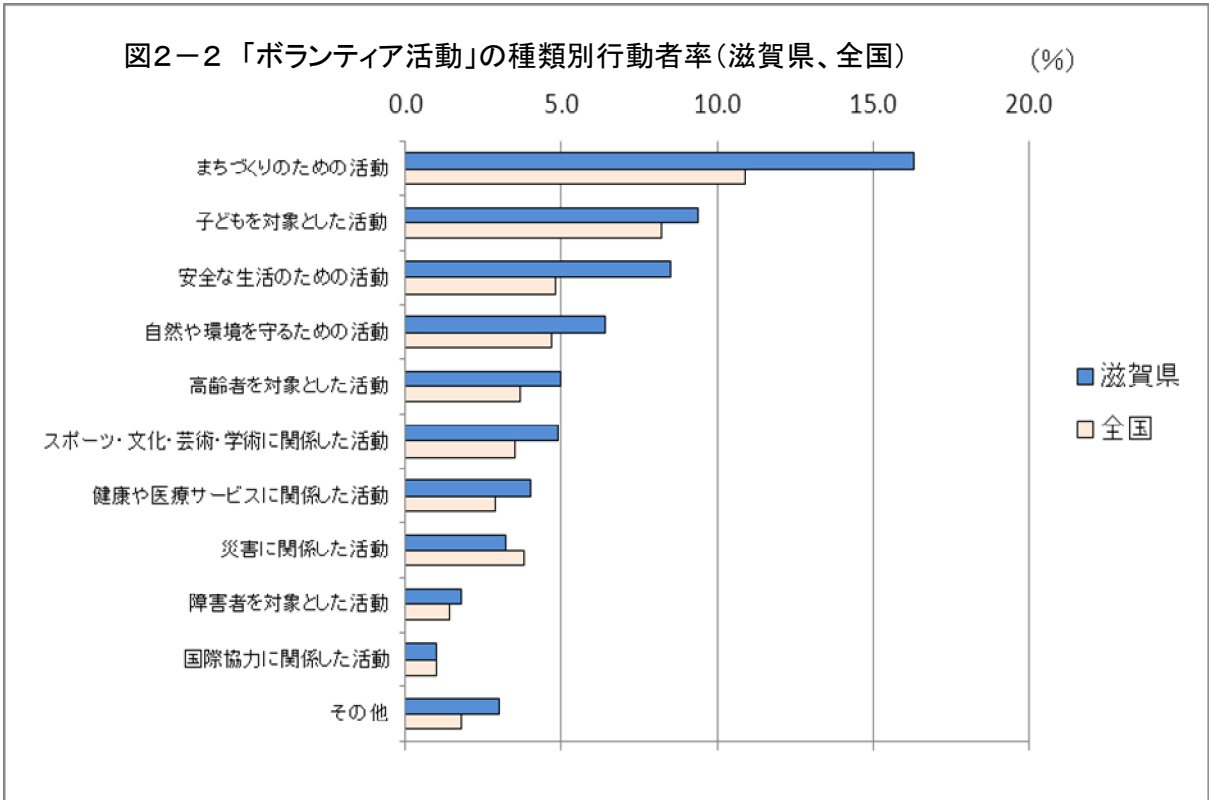
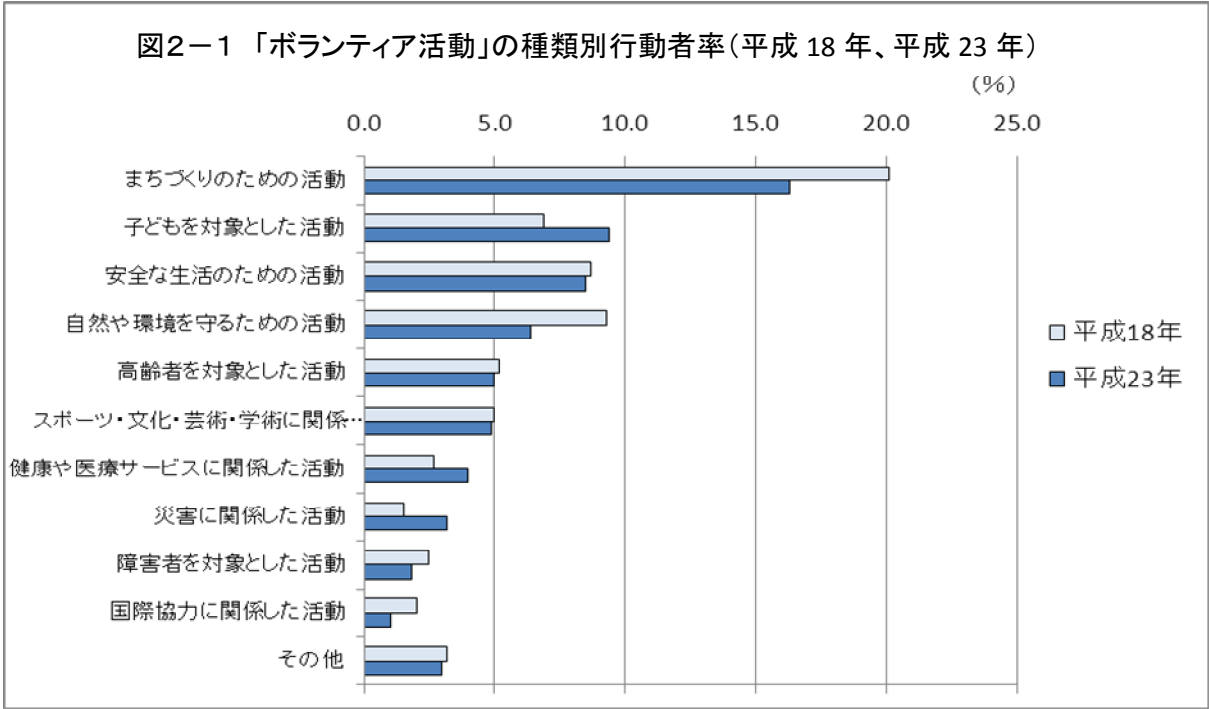
② ボランティア活動

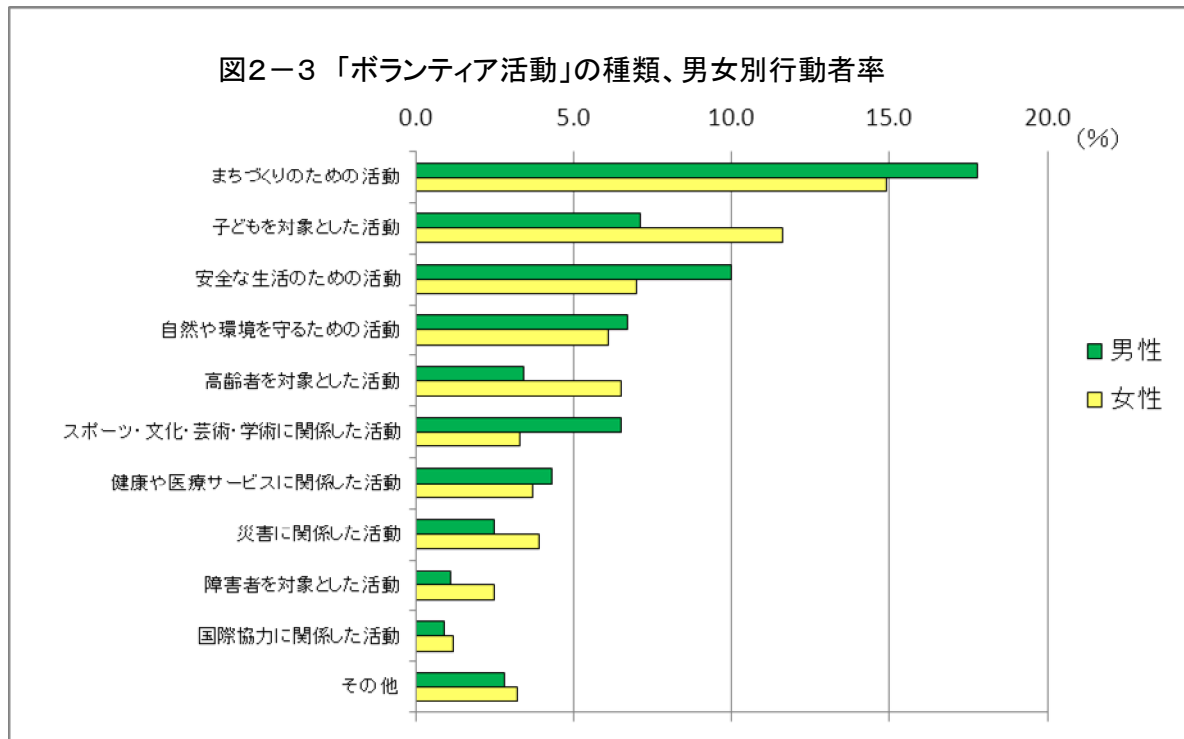
「ボランティア活動」の過去1年間の行動者数は40万8千人で、行動者率は32.6%となっています。5年前の調査から1.4ポイント低下し、全国では第8位です。(第1位は山形県：35.3%)

種類別に行動者率を見ると、「まちづくりのための活動」が16.3%と最も高く、次いで「子どもを対象とした活動」が9.4%、「安全な生活のための活動」が8.5%となっています。(図2-1)

全国と比較すると、滋賀県は「災害に関係した活動」、「国際協力に関係した活動」をのぞいて全国を上回っています。(図2-2)

男女別の行動者率を種類別に比較してみると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」、「安全な生活のための活動」等で男性が女性を上回っており、「子どもを対象とした活動」「高齢者を対象とした活動」で女性が男性を上回っています。(図2-3)





③スポーツ

「スポーツ」の過去1年間の行動者数は84万9千人で、行動者率は67.9%となっています。5年前の調査から1.2ポイント低下しましたが、全国では第2位です。(第1位は東京都：68.6%)

行動者率は「ウォーキング・軽い体操 (37.2%)」「サイクリング (9.7%)」等で増加したものの、全体的に低下しました。(図3-1※)

全国と比較すると、滋賀県の行動者率は「卓球」「テニス」「バレーボール」を除き、全国を上回っています。(図3-2※)

男女別の行動者率を比較してみると、男性(73.6%)が女性(62.2%)より総数で11.4ポイント上回っており、種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」、「バトミントン」、「バレーボール」を除き、男性が女性を上回っています。(図3-3※)

※行動者率が3%以上の種類を表章

図3-1 「スポーツ」の種類別行動者率(平成18年、平成23年)

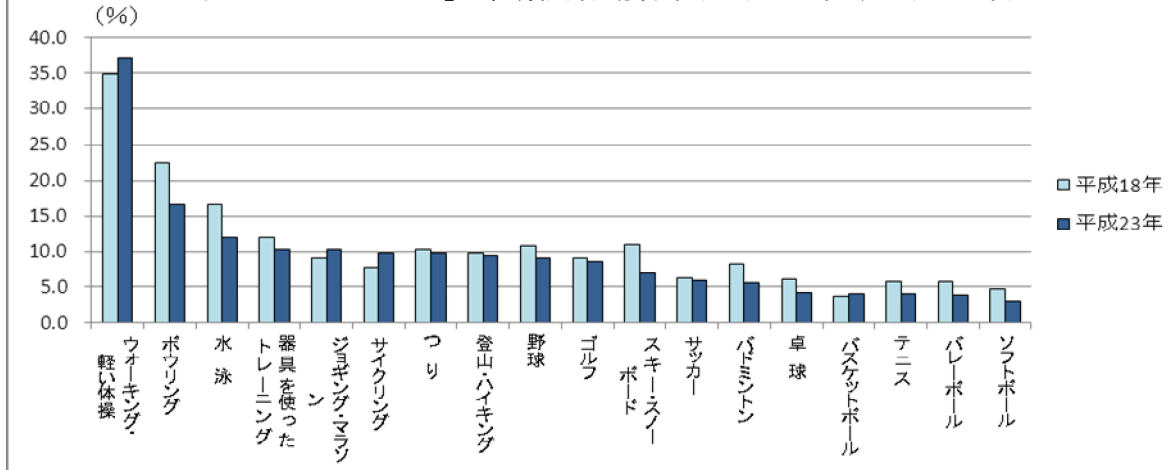


図3-2 「スポーツ」の種類別行動者率(滋賀県、全国)

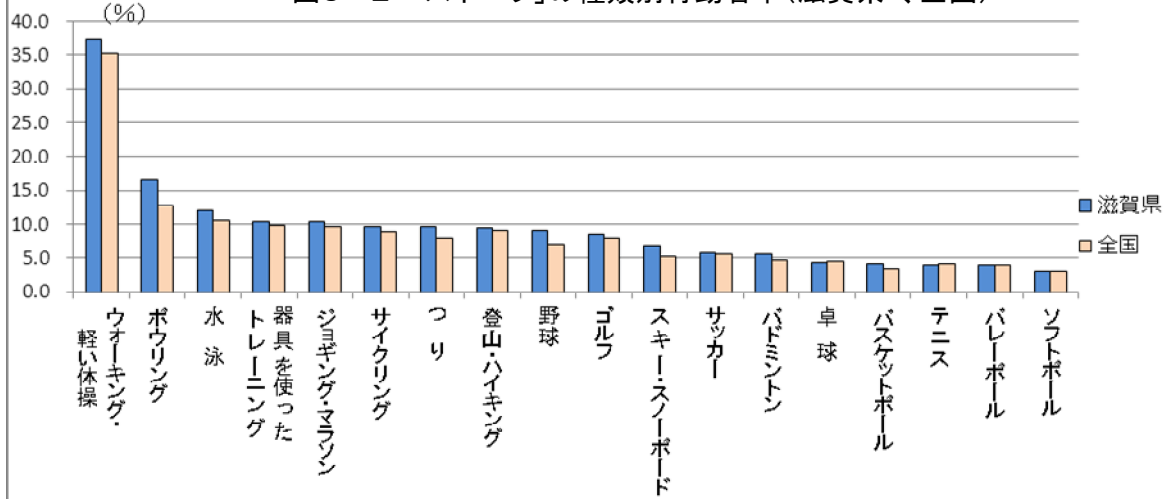
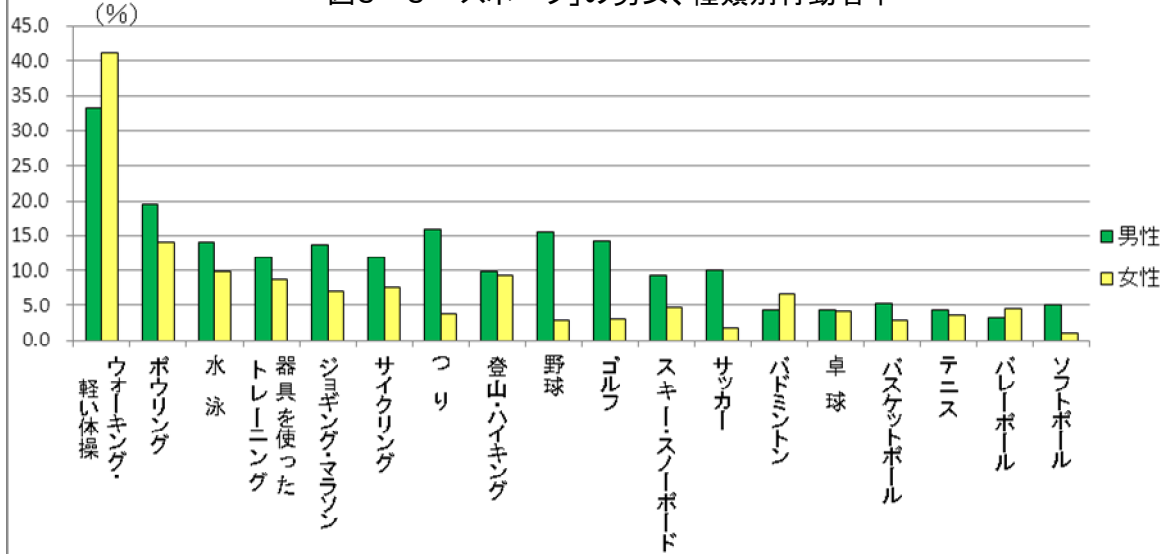


図3-3 「スポーツ」の男女、種類別行動者率



④趣味・娯楽

「趣味・娯楽」の過去1年間の行動者数は108万4千人で、行動者率は86.6%となっています。5年前の調査から0.8ポイント低下しており、全国では第6位です。(第1位は神奈川県：88.7%) (図4-1 ※※)

種類別に全国と比較すると、「テレビゲーム・パソコンゲーム」、「園芸・庭いじり・ガーデニング」等で滋賀県の行動者率は全国を上回っていますが、「スポーツ観戦」、「美術鑑賞」等では、全国を下回っています。(図4-2 ※※)

男女別の行動者率を種類別に比較してみると、「趣味としての料理・お菓子作り」、「編み物・手芸」、「園芸・庭いじり・ガーデニング」、「和裁・洋裁」で女性が男性を10ポイント以上上回っており、「日曜大工」、「パチンコ」、「テレビゲーム・パソコンゲーム」では男性が女性を10ポイント以上、上回っています。(図4-3 ※※)

全体では、女性(87.1%)が男性(86.1%)を1.0ポイント上回りました。

※※ 行動者率が上位20の「趣味・娯楽」の種類を表章。

また、年齢階級別の行動者率では、10～14歳が96.8%ともっとも高く、年齢が高くなるにつれて、おおむね低下しています。平成18年と比較すると、10～14歳、65～74歳が特に増加しています。(図4-4)

男女別にみると、65歳未満では女性の方が高く、65歳以上ではほぼ同じになっています。(図4-5)

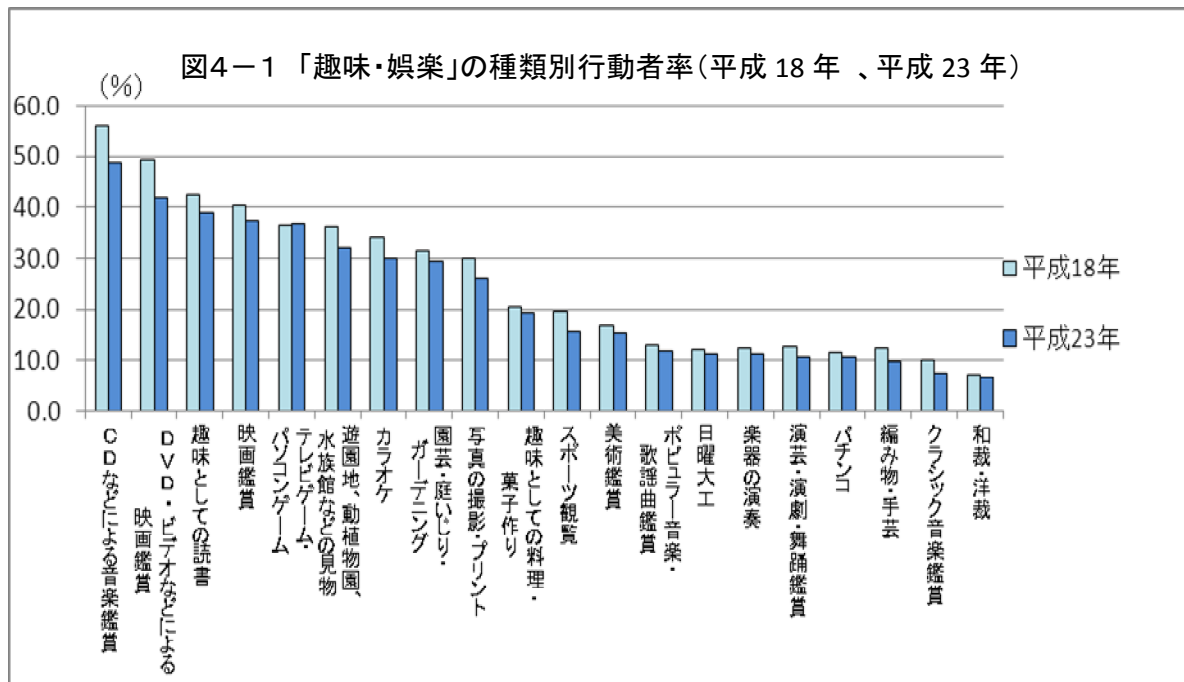


図4-2 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(滋賀県、全国)

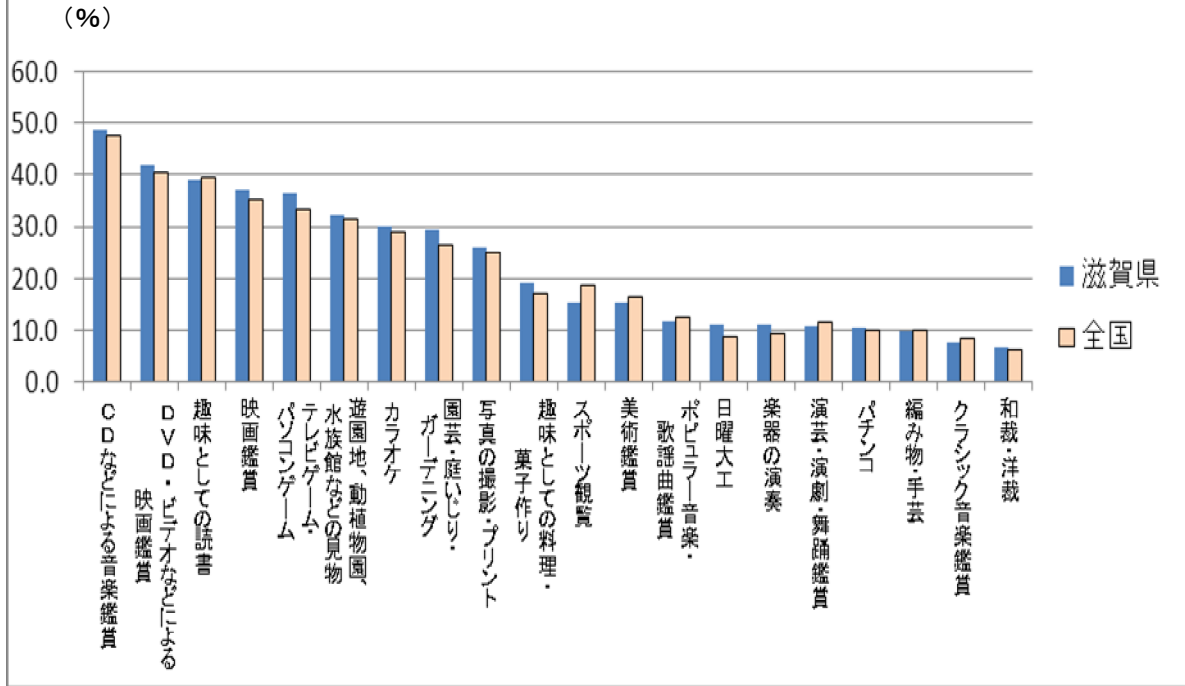
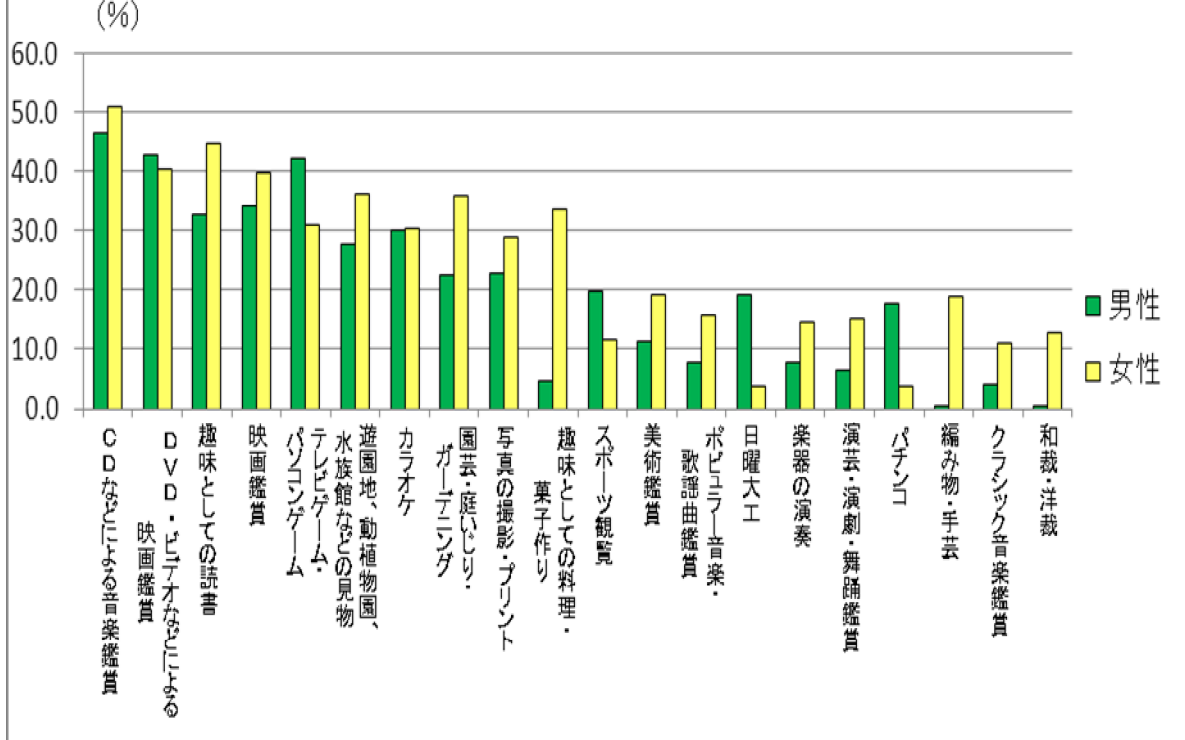
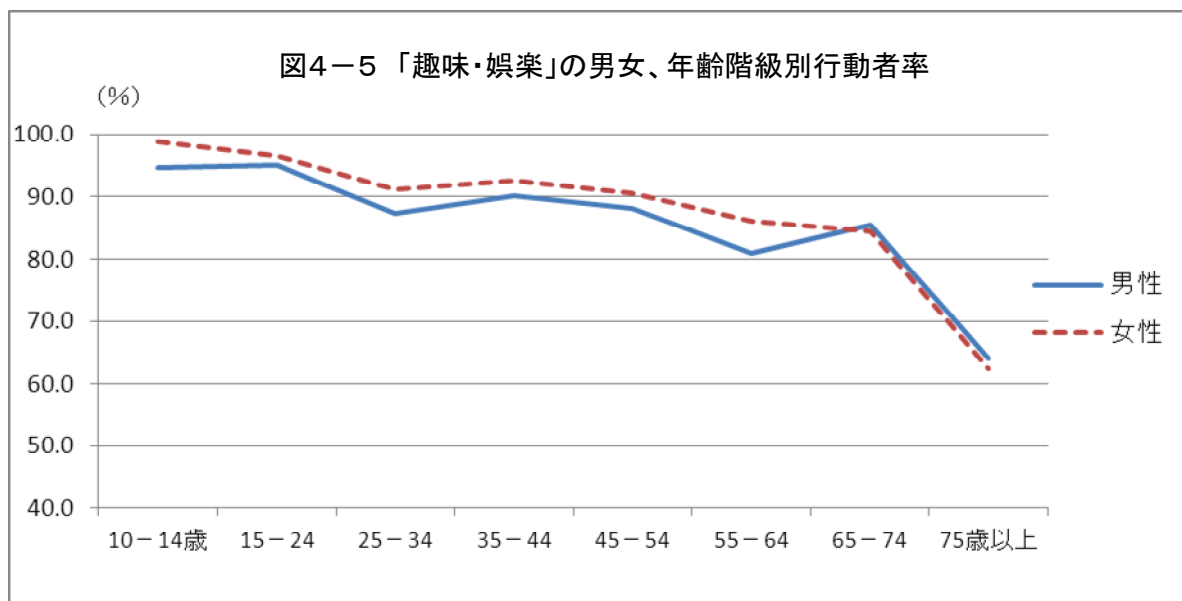
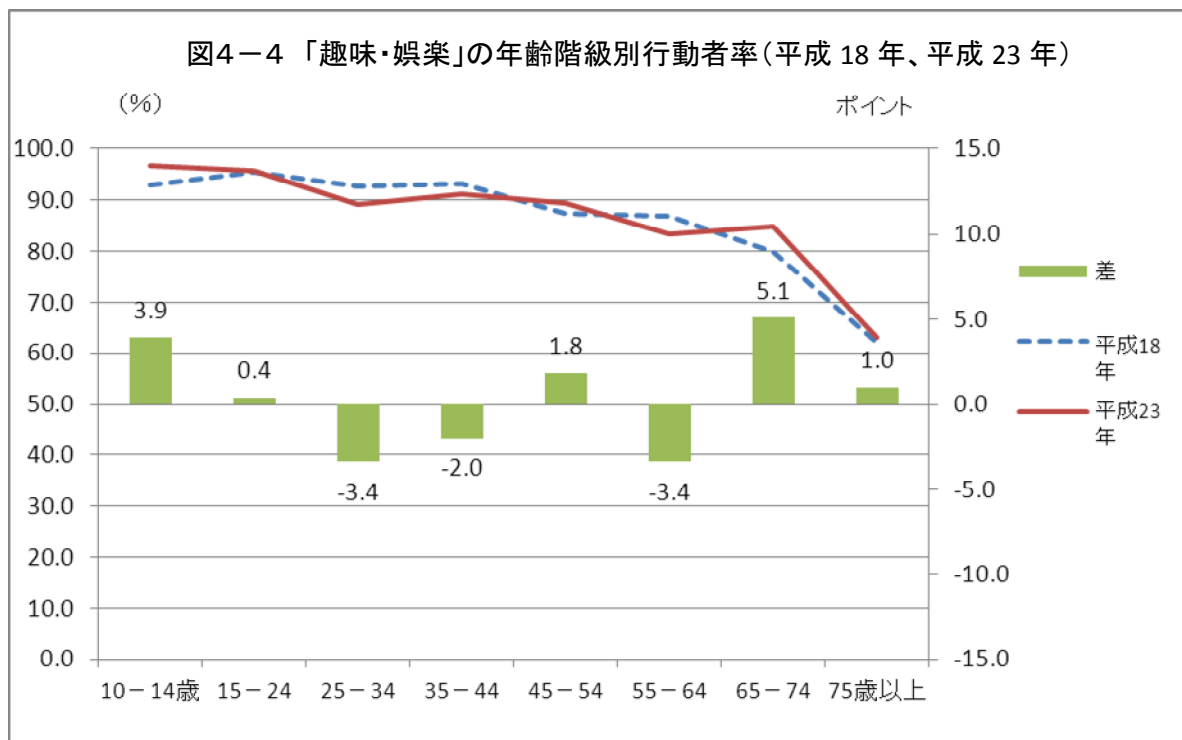


図4-3 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率





⑤旅行・行楽

「旅行・行楽」の過去1年間の行動者数は98万8千人で、行動者率は79.0%となっています。行動者率は5年前の調査から2.8ポイント低下しましたが、全国では第1位となりました。

種類別にみると、「行楽(日帰り)」を除き、全ての種類で低下しています。(図5-1)

全国と比較すると、滋賀県の行動者率は「観光旅行(海外)」を除き、全国を

上回っています。(図5-2)

男女別の行動者率を種類別で比較してみると、「業務出張・研修・その他」(国内、海外)を除き、全ての種類で女性が男性を上回っています。(図5-3)

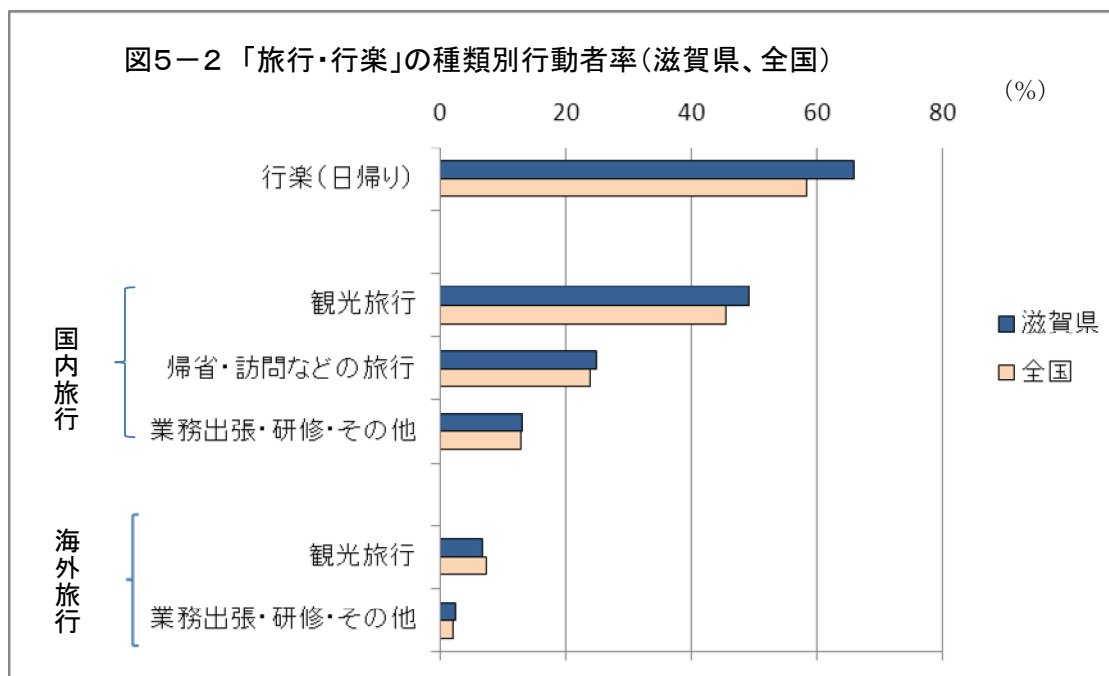
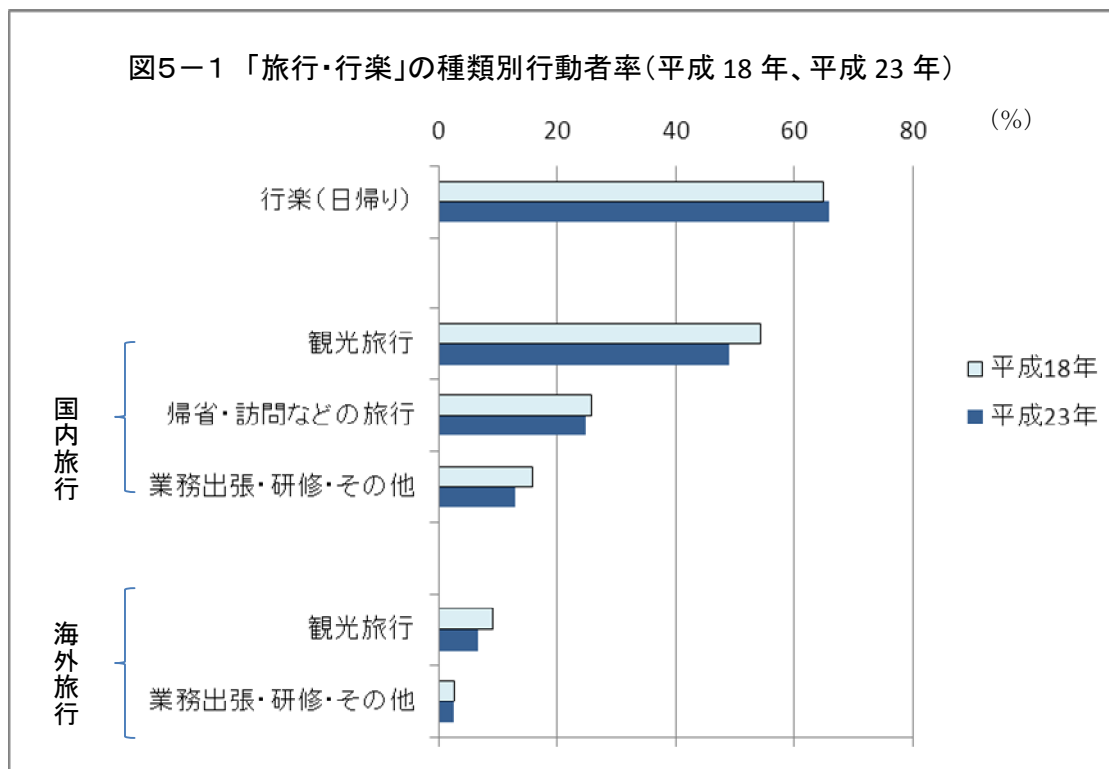


図5-3 「旅行・行楽」の男女、種類別行動者率 (%)

